



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel(186-)0595-53-1077



[2014. 12. 21 発行 編集担当:石津 勝]

師走に入り、寒さが一段と厳しくなってきました。皆様、お元気ででしょうか。

さて今号では、`14 風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀、第2回実技講習会「竹で音遊び」、そして、今月初旬の研修旅行「風と土の交響 琵琶湖高島」のご報告を中心にお届け致します。早いもので今年もあと少し…。皆様、良いお年をお迎えください。

‘14 風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀を終えて

名称変更を重ねながら2年目を除き毎年継続して開催してきた風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀も12回目となりました。矢持地区市民センターに会場を移して7年目です。実行委員会方式になって2年目。

今年の特色は、アートフェアの交流会でした。地元の出展者や実行委員の方々を含め運営主幹の本法人事務局の皆様はじめ、遠方からの出展者も駆けつけ、実り多い本音の交流が実現しました。風と土のかたち展でも、情性に陥りがちな気分を一新するため、お付き合いの展覧会ではない本気度を表す刺激の効いた展示も出現して、次年度以降に一石を投じることが出来たのではないかと考えています。レジデンスは応募者がキャンセルされ今回は不開催でしたが、次回を楽しみにしております。徐々に、ポチポチ、発展して行ければ幸いです。ご協力をお願い致します。

(実行委員長 森田 耕太郎)



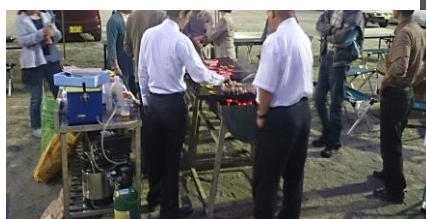
今年の「風と土のかたち展」は、残念ながらアーティスト イン レジデンスを実施することは叶いませんでしたが、グラウンドのプールには七色の虹インスタレーション「かけはし 2014 矢持 VERSION 水」、校舎裏の対岸広場にはハンモックで休息できる「極上の眠り」など、大規模で参加型の作品が登場し今後の展覧会の未来が楽しみになって来ました。昨年同様、教室、和室、美術室、音楽室も使用して、出品者53名(組)、作品数100余点の大規模な展覧会を開催することができました。また、忌憚のない講評を行うギャラリートークや、交流を深めるオープニングパーティなども、毎年のことながら愉しく充実したひと時を過ごせました。来年も、また矢持でお会いしましょう！

(風と土のかたち展担当:石津 勝)

今回のアートフェアは、お天気にも恵まれ無事に終了する事ができました。当日は文化の秋にふさわしく様々なイベントや行事がある中、多数ご来場いただきありがとうございました。今開催から会場出入口付近に総合案内所(インフォメーション)をつくり、グラウンド内に駐車場を設ける事なく広々と使用できた事は良かったと思います。地産地消の農産物販売や地域特産物販売等も早くに売り切れのところもあり好評でした。ダンスパフォーマンスや乗馬体験、フォークバンドや体育館内で行なわれた体験型ワークショップや作品販売等も、実りのあるアートフェアであったと思います。そして、なによりも、アートフェア前日の交流会でのBBQも、これからの楽しみになる事でしょう。

次回からも、スタッフ一同参加される方々共々、楽しく、おもしろく、みなさんが笑顔になるアートフェアにしていきたいと思っています。実行委員会の皆様、ありがとうございました。

(風と土のアートフェア担当 村瀬 浩)



研修旅行「風と土の交響 琵琶湖高島」に行ってきました。

12月6日(土)～7日(日)の日程で、風と土の交響 琵琶湖高島2014が開催されている湖北、高島市を巡る旅を6名の参加で行いました。1日目は運営をされている西川唱子さんから開催に至るいきさつや思いなどをうかがい、エリアの南側を中心に鑑賞しました。2日目はエリアの北部まで一気に北上し、ゆるゆると南下しながらの旅になりました。「高島のよい所以外にも見ていただきたいと考え、この時期に行っています。」という運営スタッフのコメント通りの、山間部では積雪もあり、みぞれや小雨がちらつく中の旅行でしたが、暖かく迎えてくださる作家やスタッフの心遣いも改めて感じることでできる旅となりました。宿泊地の白浜荘では、海の幸や山の幸だけでなく、湖の幸にも舌鼓を打ちながら旅の疲れを癒しました。短い時間ではありましたが、作家のアトリエを巡るという他にあまり見ないかたちの展覧会で鑑賞でき、より一層の制作意欲をかき立てられました。また、運営に携わる方々の熱い気持ちも感じた旅となりました。(研修旅行担当：芝田 真美)



宿泊地、白浜荘近くの浜辺から琵琶湖を望む

第2回実技講習会「竹で音遊び」の報告



毎年1回は企画している「音」関係の講座。今回は太田てじょん氏、深田純子氏のお二人のユニット「ケセランぱさらん」を講師に迎え、3つの竹楽器の制作、及び作った楽器を使っての音遊びを行いました。参加者は会員7名、一般5名の計12名。午前中は早速、フィリピンの民族楽器「バリンビン」を制作。昼食前にはあちこちで「ビィヨーン、ヨ〜ン」という倍音の音が。昼食では、午後制作のうぐいす笛の材料となる竹をゲットするため、全員竹輪を食しました。

後半はうぐいす笛、竹リコーダーを制作。試行錯誤しながらの楽しい時間はあっという間で、参加者皆さんの笛から音が出てくる頃には外は薄暗く…。それでもやはり折角作った楽器を皆で楽しみたいと、時間を延長して音遊びをしました。盛りだくさんの内容に、参加者全員、大満足の1日でした。皆さまありがとうございました。(第2回実技講習会担当：森田 佳子)

アトリエニュース創刊50号に寄せて

2002年にNPO法人Arts Planet Plan from IGAを設立した際、活動予告・報告や会員間の情報等の告知やその共有を目的に気軽なニュースレターを季刊で発信しようとしたのがこのアトリエニュースです。爾来、回を重ねて今号で50号を迎えることとなり、感慨無量です。正確には年度末の3月には52号を迎えるはずのペースでしたが、一回分飛んだ時があり、今回で50号となっています。13年間の紆余曲折を経て得た様々な積み重ねの成果です。今では、毎号、担当者が交代で編集に携わって頂いており、封入等も事務局会議の際等に協力して頂き、こうして皆様のお手元に届けることができています。設立初期は、一部の方に負担が重なり、原稿集めから編集、印刷、そして封入・宛名書きと続き、送付までが本当に大変でした。13年を経て、複数の事務局員の入れ替えも経ながら、殆どの方々には継続してご協力頂き、現在に至っています。嘗ては壮年であった者が老年に、青年であった者が壮年になりと、思えば隔世の感があります。通算100号の発刊の際には、どのような年代層の方が編集に加わって頂いているか、楽しみです。今後も、会員の皆様方からの楽しいホットな情報提供をお持ちしております。そして、皆様方に、本法人の熱い活動報告をお届けできるよう、努力します。よろしくお願い致します。(代表理事：森田 耕太郎)

事務局からのお願い

- 本法人は、皆様方からご納入頂きました会費で運営されております。常々、ご協力有難うございます。未納の方は、早目の納入にご協力をお願い致します。

郵便口座：00890-1-106346 NPOアーツ プラネット プラン フローム イガ

「ゆうちょ銀行」で直接お振り込みいただく場合には、すでに送付済みの振込用紙をご使用いただくか、上記の口座にお振り込みをお願いします。また、「ゆうちょ銀行」へ他の金融機関より振り込みができるようになりましたので、その場合は下記の口座にお振り込みください。よろしくお願い致します。

ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 店番 089 店名 O八九店(ゼロハチキユウ店)
当座 0106346 アーツプラネットプランフロームイガ